

令和5年度 京都府スーパーサポートセンター（SSC）主催 第1回 見えにくさのある児童生徒に関わる指導者研修会 報告

SSC視覚支援では、山城教育局管内（京都府南部地域）の小・中学校に在籍する見えにくさ（弱視）のある児童生徒に関わっておられる先生方を対象に、年間2回の研修会を計画しています。研修会と日々の巡回相談を通して、「自立活動」の充実を目指しています。

第1回の研修会では、新年度新たに見えにくさのある児童生徒に関わることになった先生方を含め、見えにくさのある児童生徒が通う学校の先生方が、弱視についての基礎的な理解や支援の方法を知り、学校生活や学習での具体的な配慮の方法や指導内容を考える視点をもつことができるように、内容や時期を設定しました。

また、内容では、自立活動の位置づけや目標など基本的なことにも触れながら、昨年度SSCが作成し、試行をした「自立活動アセスメントシート」についても紹介しています。これを踏まえて、日々の巡回相談において、「自立活動アセスメントシート」を活用しながら、個々の実態を学校の先生方と共に確認をし、具体的な目標や内容、手立ての設定につなげています。

御視聴いただいた先生方からも、「見えにくさを具体的にイメージできた」「授業での困りがわかった」などの御感想をいただき、見えにくさについて理解を深めていただけたと感じています。また、今後知りたいこと、学びたいことの質問に、「自立活動の計画や具体的な内容について知りたい」と書いてくださった方が多数おられ、自立活動への関心の高さが伺えました。

第2回の研修会では、さらに「自立活動」の内容を充実していくために、自己理解の視点について深めていきたいと考えています。

1 テーマ	「見えにくさ（弱視）の理解と支援」
2 開催形態	YouTubeによる動画限定配信
3 動画配信期間	令和5年5月10日（水）から6月7日（水）まで
4 内容	・視覚障害（弱視）とは ・環境整備のポイント ・自立活動について ・視覚支援機器について 等
5 講師	京都府スーパーサポートセンター（SSC）視覚支援担当

参加申込者数:30名(8校)

参加者アンケートより

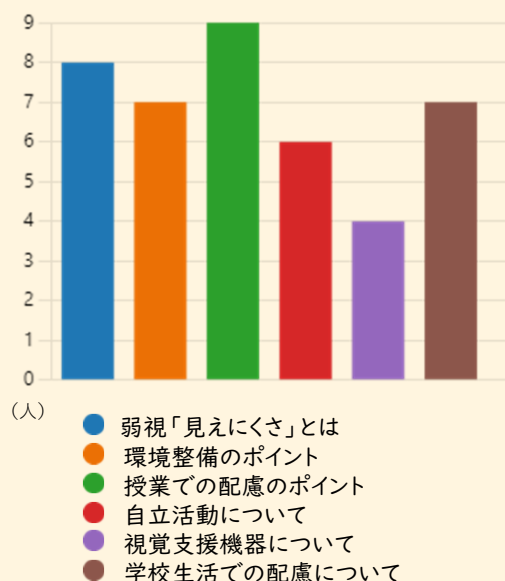
<感想（一部抜粋）>

○授業中見えにくいことで感じているであろう本人の気持ち（焦り、悲しさ、悔しさ、諦め…等々）を、感じることができました。それまで想像していた以上に、大変なのだわかりました。

○「見えている？」と聞くことは適切でないと思うと頭では理解していながらも、具体的に聞くことが難しいことがあったので、今回学んだことを活かし、具体的にして生徒に聞くことができるように努めたい。

○見え方のアセスメントをもう少しきっちりする必要を感じた。今までの育ちの中で、身につけにくかったことなどを具体的に整理し、今後、補ってあげたいと感じた。具体的な環境整備のポイントや、授業での配慮等があったので、すぐに取り入れえやすく、わかりやすかった。

<今後の教育活動に活用できると感じられた内容（複数回答可）>



御参加いただいた皆様からの御意見等は、今後の研修会企画等のSSCの取組に活かして参ります。今後とも御支援のほどよろしくお願いいたします。